



Ministry of Health and
Social Welfare of
the Republic of Srpska

ボスニア・ヘルツェゴビナ カントリー・レポート

Nataša Aleksić
スルプスカ共和国
保健社会福祉省
広報担当官



ボスニア・ヘルツェゴビナ





ボスニア・ヘルツェゴビナ 基本情報

地理的位置: ヨーロッパのバルカン半島西部。

国境を接する国々: セルビア(北東)、

モンテネグロ(南東)、クロアチア(北、西、南)

面積: 51,209.2 km²

(うち陸地 51,197 km²、海洋 12,2 km²)

気候: 南部は地中海性気候、

その他の地域は大陸性気候



ボスニア・ヘルツェゴビナ





ボスニア・ヘルツェゴビナ 基本情報

- 人口： 3,842,942 人(2007年6月末現在推定)
- 民族構成：ボスニア人、クロアチア人、
セルビア人、その他
- 宗教： イスラム教、キリスト正教、カトリック
- 公用語：セルビア語、クロアチア語、ボスニア語
(ラテン文字とキリル文字の2種類)
- 通貨： 兌換マルク(KM, BAM)
(1 KM/BAM = 0,511292 ユーロ)



ボスニア・ヘルツェゴビナ 基本情報

国旗と国章



Zastava
Bosne i Hercegovine



Grb Bosne
i Hercegovine



ボスニア・ヘルツェゴビナについて

- 水源に恵まれている。6大河川：ヴルバス川、ウナ川、ボスナ川、ドリナ川、ネレトヴァ川、サヴァ川。その他多くの河川がある。
- 国の中央部から南部にかけてディナル・アルプスが横たわり(最高峰マグリッチ山2387m)、北部には肥沃な平野が広がる。
- 南西部にアドリア海の海岸線(わずか20km)
- 国土の50%が深い森林地帯



写真





写真





写真





写真





わが街 スルプスカ共和国 バンヤルカ市

- 大学を有し、経済・金融・政治・行政の中心地。ボスニア・ヘルツェゴビナ第二の都市。人口は30万人
- 公園や街路樹に縁取られた道路が多く、緑豊かな都市として知られる。
- 若者の街、スポーツと文化の街



わが街バンヤルカ … 写真



manglaphoto (C) 2007





わが街バンヤルカ … 写真





写真





国家構成

ボスニア・ヘルツェゴビナは二つの構成体から成る。

- スルプスカ共和国 (RS) – 62の自治体
- ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦 (FBiH)
– 10の県と79の自治体

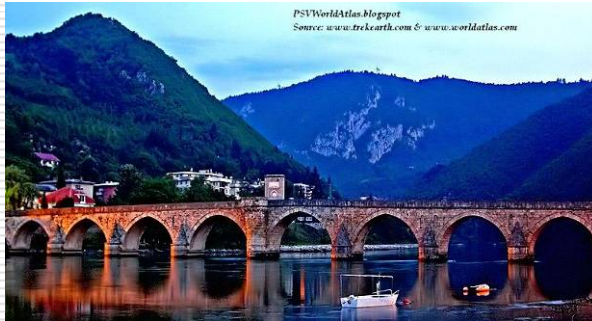


国家構成 地図





写真





ボスニア・ヘルツェゴビナの保健社会セクターの構成

- ボスニア・ヘルツェゴビナ民政省
- スルプスカ共和国保健社会福祉省
- ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦保健省
- 労働社会政策省



スルプスカ共和国 (RS) 保健社会福祉省

スルプスカ共和国の保健社会福祉省の責務は
近代的、合理的、効率的かつ有効な制度を構築することで
国民の健康増進政策を推進することである。



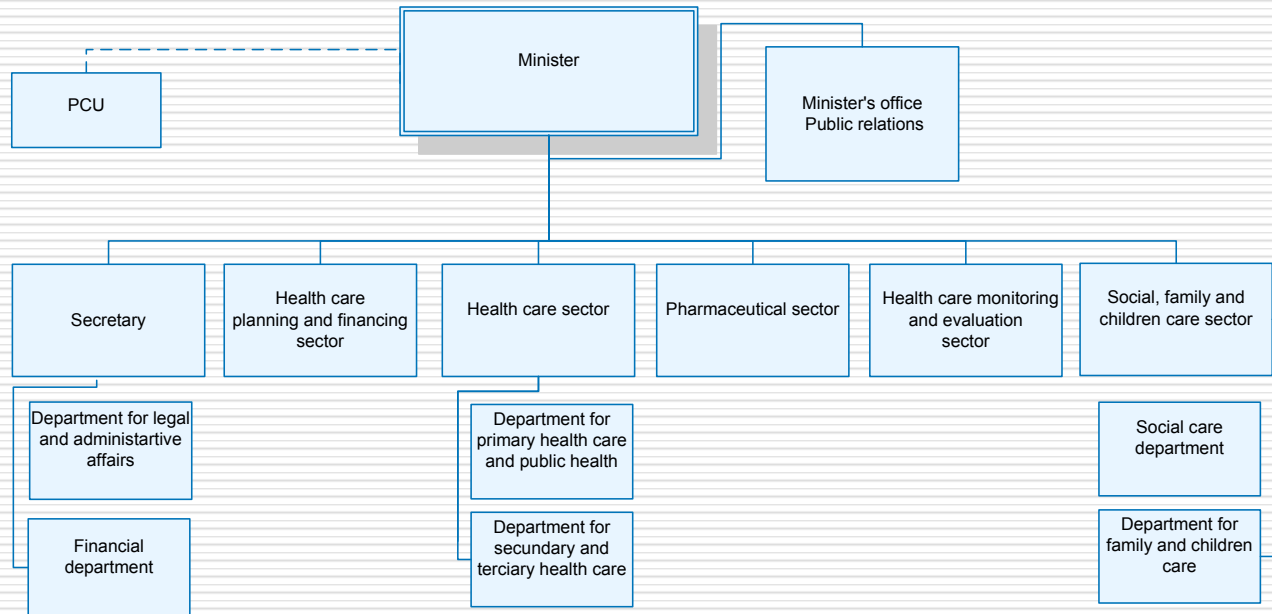


Ministry of Health and
Social Welfare of
the Republic of Srpska



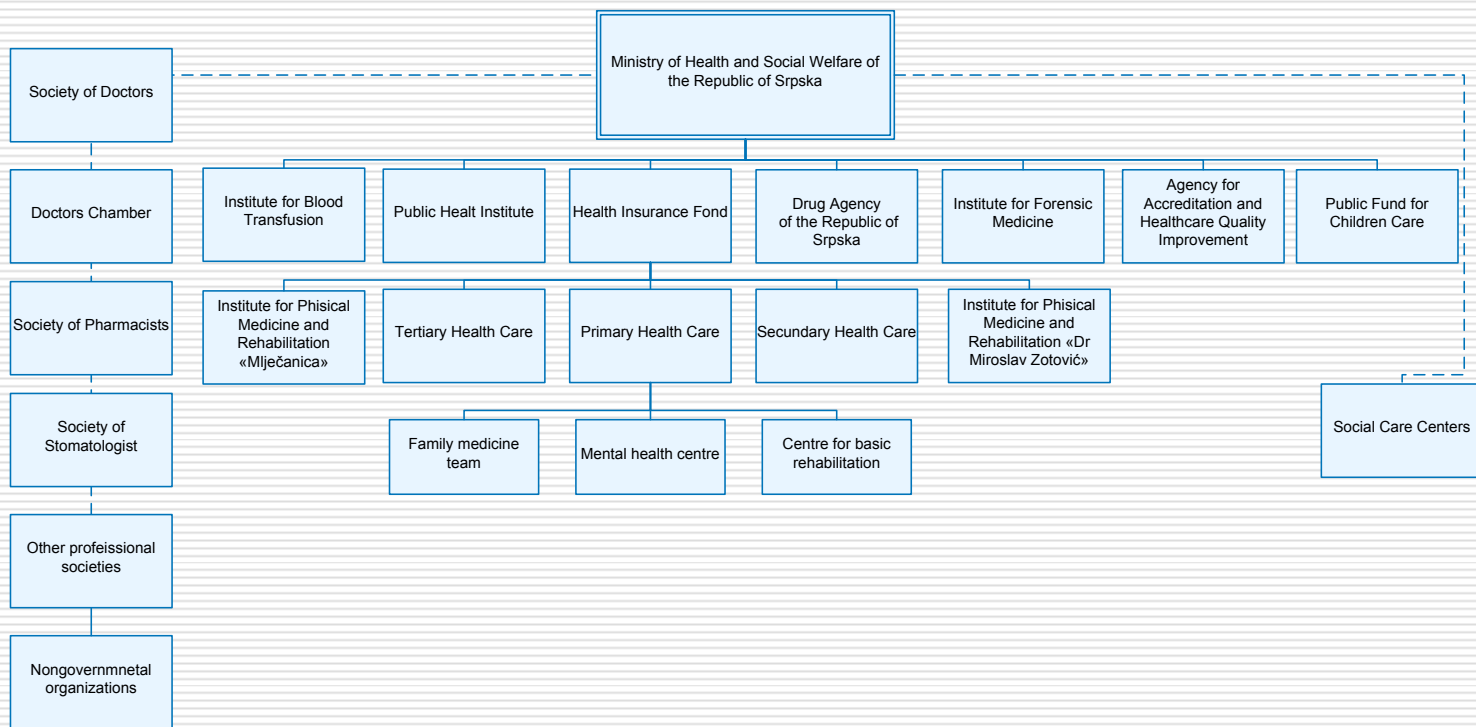


保健社会福祉省





保健社会制度組織





保健社会セクターにおけるジェンダー問題

- ドメスティック・バイオレンス (DV)
- 女性の政治参画とリーダーシップ
- スルプスカ共和国の保健社会制度におけるジェンダー不平等



阻害要因

- 女性の伝統的な役割
（男性と女性の観点から）
- 人権に関する知識が不十分
- 予算および人材の不足



目 標（来日前）

- ジェンダーに関する知識を増やす
- DV防止に役立つ知識とスキルの習得
- 男女共同参画の推進に関する知識を深める
- 他の研修員と経験を共有する



習得したこと

- 各国のジェンダー問題について多くを学んだ
- 女性の歴史から多くを学んだ
- 日常生活の様々な局面での男女共同参画の実現について知識を得た
- 強く、エネルギーに満ち溢れた女性の経験談を聞いた
- 素晴らしい、礼儀正しい人々にめぐり会った
- 日本滞在を楽しんでいる



アクションプラン

タイトル: Men As Partners (MAS)

パートナーである男性

目 標: 男性のジェンダー問題に対する
意識を啓発し、感度を高める



アクションプラン 内容

業務内容

- 男性向け啓発活動
- 教材及びプロモーション資料の作成
(男性の視点に立ったもの)
- キャンペーン活動に著名でパワフルな男性を起用



アクションプラン 期待される成果

- DVの削減
- 男性のジェンダー意識の向上
- より多くの男性がジェンダー主流化プロセスに参画
- 性的暴力防止に男性がパートナーとして関わる



事例紹介



「男らしさ」とは、

セックスパートナーが何人いるか、
女性や男性に対して暴力を振るうこと、
どれだけ痛みを耐えられるか、
他人にどれだけの権力を行使できるか、
同性愛者か否か、

ではなく、

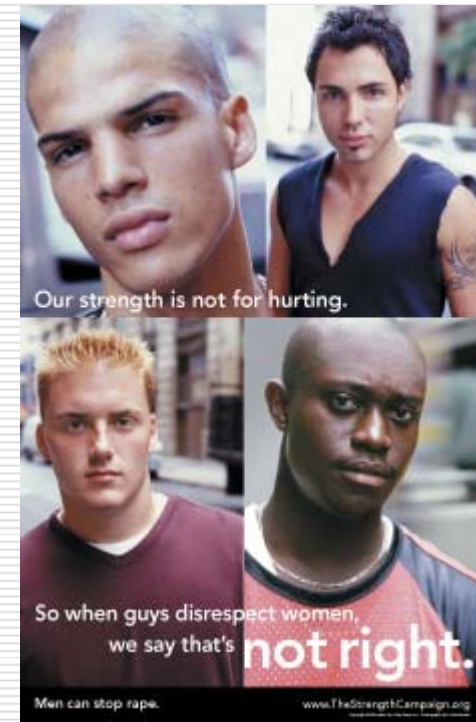
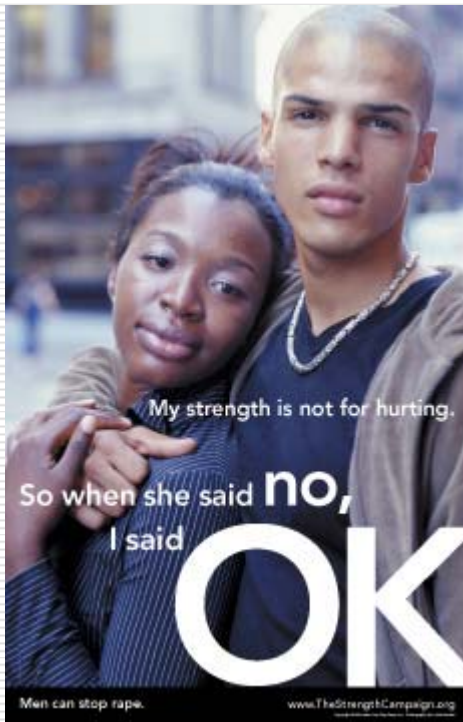
「男らしさ」とは、

尊敬と平等によって関係を築くこと、
社会にはびこる暴力に反対の声を上げること、
助けを求める強さを持つこと、
意思決定と権力を分かち合うこと、
周囲の人々の多様性と権利をどれだけ尊重できるか、
によって定義するものと、私たちは信じている。





事例紹介 – OK広報誌





Ministry of Health and
Social Welfare of
the Republic of Srpska

連絡先

Nataša Aleksić, PR officer

Ministry of Health and Social Welfare

Government of Republic of Srpska

Address: Trg Republike Srpske 1, 78000 Banjaluka

Republic of Srpska, Bosnia and Herzegovina

Phone +387 51 339 484

Fax +387 51 339 652

E-mail n.aleksic@mzs.vladars.net